

令和8年4月27日05時24分頃の十勝地方南部の地震における地震被害の現地調査について（報告）

釧路地方気象台は、本日（27日）、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT[※]）」を派遣し、震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施しました。調査結果の概要は以下のとおりです。

※JMA-MOT=JMA Mobile Observation Team

1. 震度観測点の観測環境の点検結果

令和8年4月27日05時23分（暫定値）に発生した十勝地方南部の地震により、震度5強を観測した「浦幌町桜町（うらほろちょうさくらまち）」（気象庁以外の震度観測点）の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

2. 地震動による主な被害状況

震度観測点から概ね200m以内の範囲で被害状況の調査を実施しました。その結果、主な被害状況は以下のとおりです。

| 震度観測点 （観測した震度） | 周辺の主な被害状況 | 写真番号 |
|-------------------|------------------------------------|------|
| 浦幌町桜町* （5強） | ・ポールが倒れたことによる床のガラスの破損 （浦幌町立博物館） | ①、② |

（*は気象庁以外の震度観測点）

3. 被害調査実施地域

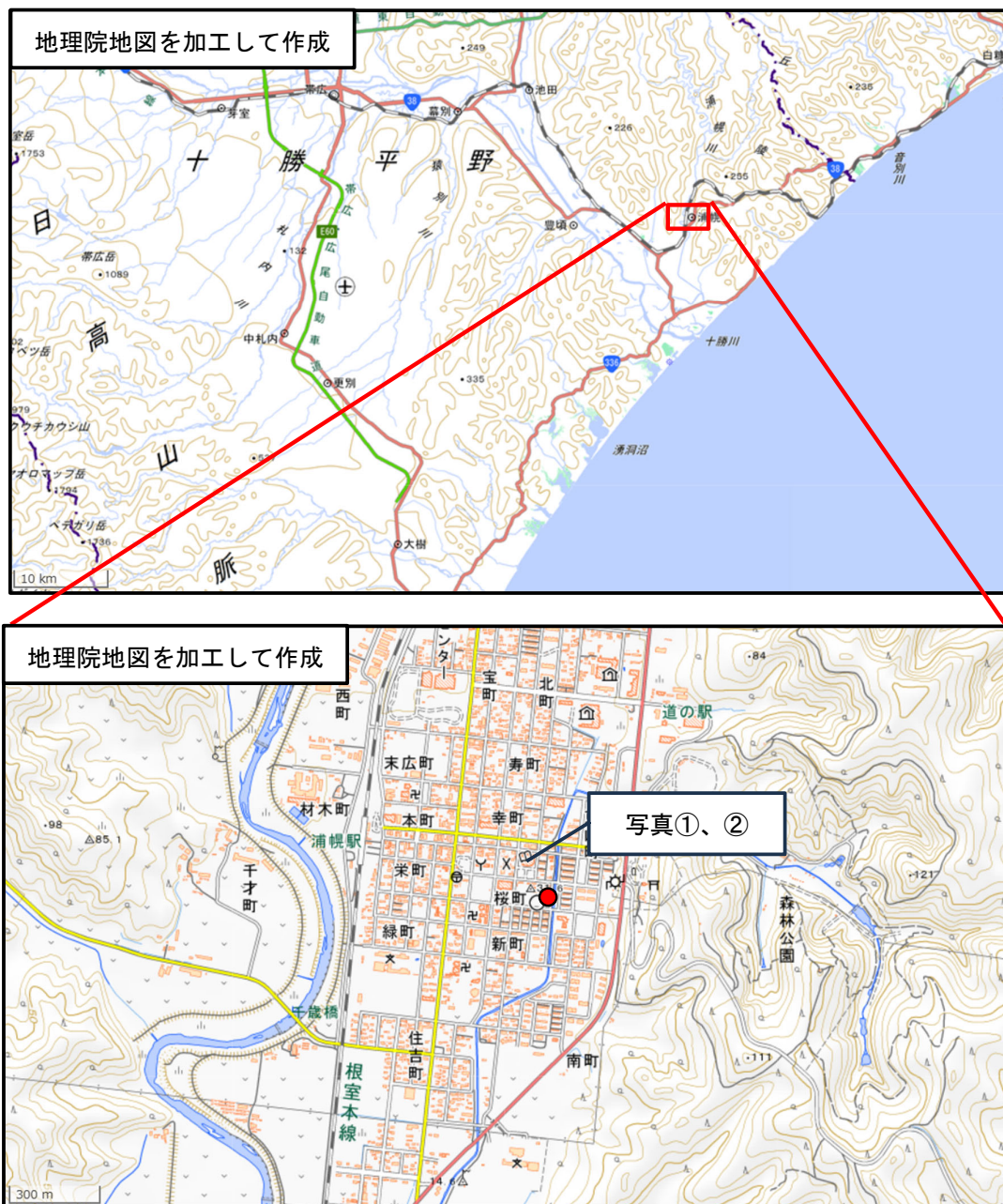


図1 震度観測点位置および現地調査実施地点
 震度観測点「浦幌町桜町*」を●で示す
 (*は気象庁以外の震度観測点)

4. 地震動による被害状況



写真① 床のガラスの破損
(浦幌町立博物館：浦幌町桜町)



写真② 床のガラスの破損
(浦幌町立博物館：浦幌町桜町)

問合せ先：釧路地方気象台 防災管理官 池田
電話 0154-31-5146